

平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	「常願寺川治水叢書」編集・発刊事業	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	国土の利用・整備・保全に関する資料等収集整理事業	分類名 (中項目)	資料収集・編纂事業		事業区分	調査、資料収集	

1. 事業目的

当会では、日本の土木史に残る偉業を後世に伝えるべく、平成13年から10年間にかけ『大河津分水双書』(全10巻)を刊行した。

同様に、歴史に刻まれる河川・砂防事業が行われてきた日本有数の急流河川「常願寺川」において育まれた技術や尽力した技術者等に光を当て、国土整備への理解促進、防災への意識啓発、地域の成り立ちへの関心喚起を図るため冊子を制作するものである。

2. 事業実施体制

発行：一般社団法人北陸地域づくり協会
 監修：白井芳樹(元富山県土木部長)
 編集協力、印刷・製本：委託

3. 事業実施概要

平成30年度は、以下の編集作業を行った。

- ▶ 書名：『暴れ川と生きる』常願寺川治水叢書[砂防編]
- ▶ 発行年月：2019年7月(予定)
- ▶ 仕様：B5判オールカラー、150p程度
- ▶ 発行部数：1,550部
- ▶ 配布先
 - ・富山県内教育機関(小中高、大学・短大・高专)・図書館・博物館・資料館
 - ・富山県、富山県内市町村、国土交通省
 - ・富山県内のマスメディア 他
- ▶ 特記事項
 - ・「読み物」として手にとってもらえるよう、判型も含め編集内容に配慮
 - ・より理解が深まるよう、用語解説や年表等を収録
 - ・2017年1月に[通史編]刊行。2018年3月に[河川編]刊行。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

- ① 地域で起きた災害とそれに立ち向かう先人の英知や教訓を伝えることにより、防災への備えに対する意識啓発を生み、減災へとつなぐ。
- ② 過去の災害への取り組みの記録を集約し、情報発信することにより今後の防災インフラ整備への理解促進につながる。
- ③ 地域の安心、安全を振り返ることにより、地域との関わりを見直す機会となり、地域づくりに関心喚起を図ることができる。
- ④ 立山カルデラの砂防施設群を含む立山・黒部の世界文化遺産登録を目指しているこのタイミングで書籍化することは、地域の観光振興・地域活性化に寄与する。



編集会議(H31.3.25)

常願寺治水叢書[砂防編] 編集稿

